伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード		名	称			コード	名 称
事業名	306	障害者福祉-	_			会計	01	一般会計
学 未12	30	14日日田田	拟性貝			款	03	民生費
基本施策	5	障害のある人の自立した生活を支える				項	01	社会福祉費
						目	04	障害者福祉費
担当部課名		島ヶ原支所 健康福祉課				細目		障害者福祉一般事業
作成者氏名	脇坝	ī 長充	連絡先	0595-59-216	3	細々目	01	障害者福祉一般経費

事業の計画・内容

3 る。						
1.00						
 自動車燃料費助成額は、月額600円とする。助成は伊賀市重度心身障害(児)者自動車燃料券の交付をもって行う。適格者に対して燃料券を当						
該年度ごとに12枚を交付する。						
伊賀市障害者福祉連盟島ヶ原支部、島ヶ原手をつなぐ親の会への助成を行った。						
į						

開始年度 平成 16 年度 終了年度 平成 年度 根拠法令 要綱等 伊賀市重度障害(児)者自動車燃料費助成事業実施要綱

投入資源

			H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員	(人)	0.4	0.4	0.4
	人件費合	計(A)	2,880	2,880	2,880
②支出内訳		事業費(B)	544	518	40
(千円)		需用費	18	26	30
		負担金、補助及び交付金	400		
		扶助費	118	483	
		その他	8	9	10
合計(A+B)			3,424	3,398	2,920
③財源内訳	特定財源	国県支出金			
(千円)		地方債			
一般財源			3,424	3,398	2,920
上記①~③に関する特記事項					

事業実績

事業実績		-		= / -
活動指標	単位	実績値		票値
11 23 11 IV		H17	H18	H19
申請者数	人	18	23	28
決定者数	人	18	23	28

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
利用率(交付枚数に対する利用枚数の割合)	実際の利用枚数が交付枚数より下回るため、10割の利用を目標値として設定。	%	90.74 目標 (100)	100	100
			目標		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

受給資格があるにもかかわらず、福祉施策を受給されていない対象者が多数存在すると推測される。そのため、広報等での情報発信に工夫すると 共に、窓口、訪問時においてわかりやすく説明する等により周知を徹底する必要がある。 障がい者福祉団体、手をつなぐ親の会への助成は本庁から行なうこととなった。

	必要性	4	執行方法等の変更を行なう。	総合評価
評	有効性		障がい者に対する支援事業として有効であり、今後も継続が必要である。今後は対象者への周知方法等	
価	達成度		工夫をし利用率を上げていくことが必要である。また、当該支払い事務を本庁にまとめることでコストの削減	l A
	効率性	3	を図る。	